



国際協力

2023.7
NO. 76
夏号

JICA 駒ヶ根

駒ヶ根市でグローバルプログラムが本格始動! JICA海外協力隊・派遣前訓練入所前のグローバル生が駒ヶ根市内各所で活動中!

JICA海外協力隊グローバルプログラムは、派遣前のJICA海外協力隊合格者に対し、自治体等が実施する地域活性化、地方創生等の取組みにOJTとしての参加機会を提供するプログラムで、訓練所がある駒ヶ根市でも青年海外協力協会(JOCA)と市が連携し、プログラム受入れ先として実習を実施しています。

今回は2023年度2次隊として派遣予定の3名が、4月~6月下旬まで駒ヶ根市で行ったグローバルプログラムの様子をご紹介します!

ホンジュラスへ理学療法士として派遣予定の吉川さんは、まちなかにあるゴッチャ!ウェルネス(フィットネスクラブ)で実習を実施。地域の皆さんとコミュニケーションをとる中で、運動を交えながら交流するきっかけ作りや、同じ趣味や楽しみ、ワクワクする場作りができればという思いから、ランニングクラブ結成や、ポッチャを通じた交流などで地域活性化に取り組みました。

地域の方と「信濃の国(長野県県歌)」に合わせて体操(右・吉川さん/左・高橋さん)▶



同じく理学療法士としてチリに派遣予定の高橋さんは、駒ヶ根ふるさとの家を拠点とし、健康体操や認知症予防の運動教室、その他レクリエーション×パラスポーツによる健康増進活動などを実施。運動教室を通して、市街地や各施設へ顔を出した際に声をかけていただくことが増え、地域の方との繋がりが徐々に強まっていくことを感じたと話してくれました。

◀認知症予防の運動教室(高橋さん)

ジンバブエに体育隊員として派遣予定の長谷川さんは、中沢・大曾倉地域で、農作業を通じた福祉施設の利用者支援をはじめ、同地域で昔から作られていたかぼちゃを活用し、地域を知ってもらう「かぼちゃプロジェクト」を立ち上げたほか、スポーツを通じた地域活性化として自身の強みである陸上を活かし、市内外で陸上教室なども行いました。

駒ヶ根の大自然の中、農作業の様子(右・長谷川さん)▶



6月20日の最終報告会では、2か月半という短い期間にも拘わらず充実した実習だったことが窺えました。また、信頼関係の醸成や、持続可能性の確保、ニーズの把握、価値観や考え方の理解、自身の強みを活かすことなど、本プログラムでの成果や反省点を冷静に分析し、今後の協力隊活動に活かしていこうとする3人の姿が印象的でした。

この経験を派遣国での活動や、帰国後の地域社会へも十分に活かしてくれることと思います!

グローバルプログラムに関する詳細はこちら▶



最終報告会終了!お疲れ様でした!

2023年度1次隊 112名訓練修了! コロナ禍を経て、100名規模の訓練再開!

約3年ぶりに100名規模の派遣前訓練となった2023年度1次隊。60日間という訓練日程の中、通常の課業の他に、自身の強みを活かし、訓練生が訓練



修了式の様子

生にスキルや経験を伝える「自主講座」やイベント企画などが積極的に行われ、派遣に向け訓練生同士が背中を押し合い、様々なチャレンジを行う姿が印象的でした。

修了式では、ボリビアに小学校教育で派遣される平島将崇隊員が、同期隊員や関係者に向けての感謝の気持ちや、派遣に向けての決意を答辞として表明しました。以下一部を抜粋します。

「私の訓練言語であるスペイン語には、次のような言葉があります。—Caminante, no hay camino, se hace camino al andar.— <旅人よ。道はない。一步踏み出したときに道は作られるのだ> これ

はスペインの有名な詩人、アントニオ・マチャードの言葉です。これから私たちが協力隊として過ごす日々も、それぞれの任地で、今までに体験したことのないような多くの困難に直面し、歩みを止めてしまうことがあるかもしれません。しかし、海外協力隊として世界に貢献したいと一步を踏み出して今ここにいるように、これからも切磋琢磨し、支え合いながら、一步を踏み出して、各々の道を作り上げていきましょう。」



隊員代表答辞を述べる平島隊員

訓練所での経験や過ごした日々が、今後の原動力となりますことを願っています!



自主講座も数多く実施されました!
(写真は武道の自主講座)



Hola. (こんにちは) 私は中米のグアテマラという国で、数学教員への研修と中学生に数学を教えています。日本との時差はマイナス15時間ですので、日本であなたが見送った夕日をグアテマラでは私が朝日として迎え入れるそんな毎日です。私の任地であるグアテマラ国キチェ県は、首都からまるで杖突峠のような山道を3時間半走った先の、標高二千mの山間部に位置します。一年の間あちらこちらを廻りその感動をわかちあいたいと思ったことが沢山ありました。アティトラン湖の夕焼け、火山のシルエットを水面に写し、それを分かっ



算数ワークショップの様子

一隻の船。瞬く間に輝き始める満天の星空。年中温暖

で、とても住みやすい気候であることから「常春の郡」と呼ばれています。

グアテマラはマヤ文明が栄えた国として広く知られています。22の言語の部族に分かれており、多くの女性が地域によって柄の異なる色鮮やかな独自の民族衣装であるウィピル(上衣)を纏っています。誇りをもった生き方が彼女たちの美しさを引き立てています。

一方で地方では教育格差が広がり、日々の生活費を稼ぐために学校へ通えない子供たちが多くいます。中央公園で算数ワークショップをしたときは最初表情も無かったそのような子供たちが、折り鶴が折れたとき、また問題が解けたときに見せる嬉しそうなお表情、友達に自慢するときの輝く瞳の美しさを見ると、私はやはり来てよかったと思っています。悩むこともあるけれど、しあわせです。

最後になりましたが、みなさんの幸福を心から遠くからいつも祈っています。



グアテマラの折紙先生ottoー数学教師とのコラボ研修も実施!(一番左が私です)

JICA海外協力隊から地域おこし協力隊へ!

地方創生で活躍する 海外協力隊 OBOG

青年海外協力隊の任期終了後、東京での会社員生活を経て、2020年から木曾町に移住し地域おこし協力隊として活動しています。

就任当初は地域の情報発信がミッションで、1年目に観光施設PRのために「宮ノ越グローバルWEEK」という世界の文化紹介イベントを開催しました。これがきっかけで、次第に町内の多文化共生推進支援がメインミッションに変わり、同イベントを毎年開催しているほか、青年海外協力隊体験談の出前講座、世界各国の料理を作って食べるワークショップなどを定期的に開催しています。

任期を1年延長し最後の1年となった今年度は、地域の自治協議会と一緒に国際交流事業を行うことになりました。人口減少が喫緊の課題となっている木曾地域では、移住対策が急務となっています。国際交流は移住促進にも関係



イベントで作ったガーナの朝ごはん・ワチェ

木曾町地域おこし協力隊 おがわ 小川 ひとみさん
(2014年度2次隊/ガーナ/PCインストラクター)

し、地域のニーズに一致するという一方で、地域が一体となって準備を進めています。この事業は、東京の大学で農業を学ぶ外国からの留学生を木曾町に招き、農業体験を通して地元の親子と交流するイベントです。イベント名は地域の方から募集し「木曾駒ワールドフレンズ」と名付けました。2泊3日のイベントで、メインは2日目の8月20日(日)です。木曾駒森林公園にて、ダンスや楽器演奏などのステージ発表、縁日の出店などを企画しています。地域での異文化理解が深まり、誰もがより暮らしやすい地域になることを願っています。



宮ノ越GW2021.民族衣装ワークショップ時の様子

▶木曾駒ワールドフレンズ開催概要

開催日時:2023/08/19~21

(一般向けメインイベントは8/20(日)14:00~15:25)

主催:日義地域自治協議会

シリーズ

みんなで作ろう! 協力隊派遣国 世界のごはんレシピ

Vol.5

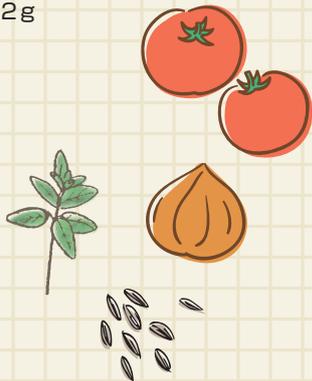
エクアドル料理
セコ・デ・ポジヨ(鶏肉の煮込み)



材料(1人分)

鶏もも肉…40g
(0.5%の塩、白ワイン少々、胡椒でマリネしておく)
玉ねぎみじん切り…25g
ダイストマト缶…20g
トマト ざく切り…20g
ニンニクみじん切り…2g
水…25cc
ビール…15cc
サラダ油…5cc
クミン…0.05g
オレガノ…0.1g
胡椒…0.2g
塩…0.8g

A
ライス…100g
塩…0.8g
ブイヨン…1.2g
白胡椒…0.15g
マーガリン…4g
ターメリック…0.2g



作り方

- ①鍋に油をいれ、ニンニク、玉葱を炒める。
- ②鶏肉はスチームオープン200℃で火を通す。
- ③①に焼き上げた鶏肉を焼き汁ごと加え、トマト、ダイストマト、水、ビールを加えて煮込む。
- ④塩、クミンなど調味料を加え味付け。
- ⑤ライスをAの材料で炊く。
- ⑥ライスが炊き上がったら④をかけて食べる。(角切りのアボカドや赤ピーマンソテーものせるとGood!)

食堂スタッフワンポイントアドバイス!

- ビールで煮込んで肉を柔らかくし、苦みとコクをプラスするのがポイントです!

JICA 国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト募集案内

2023年募集テーマ

「地球に生きる私たち -未来へつなげるために-」

地球に生きる私たちにとって、「何を」未来につなげていくことが大切なの
でしょうか。そして、そこにはどういった課題があり、私たち一人ひとりができ
ることは何でしょうか。

自分と世界との接点から、未来に向けて私たち一人ひとりは何ができる
か考え、自分の思いを、「言葉」にしてエッセイを書いてみませんか。
言葉にすれば、世界を動かす力になっていくはずですよ。

募集期間

2023年6月7日(水)～2023年9月13日(水)必着

今年からウェブ応募も開始となりました! 応募の詳しい情報はHPをご覧ください!
<https://www.jica.go.jp/cooperation/experience/essay/collect/index.html>



2023年度1次隊(2名)

長野県出身JICA海外協力隊員

行ってきます!!

日本社会青年海外協力隊



あかはね しんじ
赤羽 晋治 さん (松本市)

派遣国: ブラジル
職 種: 日本語教育

皆さんは「アリアンサ」という村を知っていますか? ブラジルサンパウロ州の北西部に位置する、長野県民が100年前に開拓した村です。私はそのアリアンサで日本語教員として日本語や日本文化を伝えてきます。アリアンサと長野県の架け橋になれるよう尽力して参ります。

青年海外協力隊



なんば なつみ (富士見町) 派遣国: モンゴル
難波 菜摘 さん ※静岡県出身 職 種: 理学療法士

首都の保健局に配属され、地域の病院を巡回し患者さんへ理学療法を実施します。また理学療法士に勉強会の開催をします。現地の方と協同し課題解決ができるよう努めます。これまでの経験を活かし精一杯取り組みます。

スタッフ紹介



ふるさわ けいご
訓練担当 **古澤 圭悟**
2019年度3次隊でアフリカのガボンに言語聴覚士として派遣されていました。コロナの影響で1年派遣が延期になり2023年3月に帰国しました。駒ヶ根訓練所で訓練生として訓練を受け、今回は職員として訓練生と関わることができのを楽しみにしています。よろしくお願ひします。



んごむ あみ
語学担当 **ンゴム 亜実**
2015年度1次隊で、セネガルにコミュニティ開発隊員として派遣されていました。この6月から勤務を始めたばかりですが、私も訓練を受けたこの駒ヶ根訓練所で、これから知識をたくさん身につけ、訓練生の方々にも貢献できればと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



おさわ としひで
講座担当 **大澤 俊秀**
古き良き昭和の時代のタンザニアJOCV(昭和61年度1次隊:建築構造計算)から転じて、民間企業で約30年。直近5年間はインドネシアでODA建設事業の技術的調査・支援をしてきました。40年間一貫して建設畑を歩んだ技術者です。35年ぶりの協力隊事業への参加で、ちょっと緊張、ちょっとワクワクしています。



こじま まさゆき
講座・生活総括責任者 **小島 正行**
今年3月未だで東南アジアのラオスで勤務し、帰国後の4月より駒ヶ根訓練所でお世話になっています。駒ヶ根市は初めてですが、長野県での生活は20数年ぶりとなります。当時と比較しての変化も新鮮ですが、信州の豊かな自然など変わらぬ魅力も改めて感じ、この恵まれた環境も楽しみながら業務にも励みたいと思います。



もり かつや
講座担当 **森 勝也**
2012年度2次隊で、バレーボール隊員としてモンゴルで活動しました。帰国後はJICA二本松訓練所で約6年半、JICA海外協力隊グローバルプログラム担当として約2年勤務し、今年7月からJICA駒ヶ根訓練所で勤務しております。隊員のみなさんが健康に安全に活動できるよう、サポートしてまいります。



ふくい もとき
講座担当 **福井 基貴**
2017年度2次隊で、PCインストラクターとして中米ベリーズで活動しました。隊員経験のおかげでラテンアメリカが好きになり、メキシコに滞在しながら様々な都市の人々と交流し、文化に触れてきました。訓練生が任国に行くまで、全力でサポートしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

SBC信越放送ラジオに、長野県の協力隊OBOG・出発前隊員・JICA駒ヶ根スタッフが出演中!

毎月第4土曜日
8時22分～8時33分頃

【武田徹のつれづれ散歩道】内コーナー「地球色の窓を開けよう」

毎月第3月曜日
13時13分～13時30分頃

【ミックスプラス】内コーナー「協力隊と巡る音楽世界旅行」

皆さま是非お聴きください!
SBCラジオHP



2023年度 駒ヶ根訓練所 派遣前訓練人数実績

1次隊: 112名 2次隊: 111名入所予定 (2022年度 合計: 222名)

発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
<https://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

JICA駒ヶ根 facebook ページ

<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン

配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp までメールでご連絡ください!